



# えがお通信



2023年3月号  
社会福祉法人 尚徳福社会  
おぐら保育園 園長 酒井和子

春光うららかな季節となり、陽ざしのぬくもりを感じられる日が増えました。今年度も残りわずかとなりました。この一年を振り返り一人一人自分のペースで大きくたくましく成長した姿にうれしさを感じているこの頃です。

## 春分の日

国民の祝日である「春分の日」では「自然をたたえ生物をいつくしむ」ためとして定められています。この日は、昼と夜がほぼ同じ長さになって、次の日から昼の時間が長くなっています。春分の日から3日前から7日間を「春の彼岸」春分の日は、「彼岸の中日」と言います。周りの環境に感謝しながら、じっくりと自然に目を向けて春を探してみましよう。



## 3月の行事

1日（金）ひな祭り会食（幼児）

5日（火）えいごであそぼ

8日（金）避難訓練

15日（金）人形劇（つくしの会）

19日（火）えいごであそぼ

22日（金）幼児誕生会・避難訓練

23日（土）卒園式

26日（火）乳児誕生会





## 乳児クラス

泣いている子の顔をのぞき込んだり、「一緒に遊ぼう」というように手をとったり、言葉にせずとも言葉が通じ合う子どもたち。友だちに関わろうとする姿に成長を感じます。



## 幼児クラス

毎日のあそびの中で、相手の気持ちに寄り添う姿や友だちと力を合わせる場面もたくさん見られます。友情を深めながら一人一人が大きく成長した1年となりました。



### ゆかいなコンサート

3月15日に、保護者会つくしの会の主催で、歌のお姉さんや仲間が遊びに来て「ゆかいなコンサート」を楽しみます。子どもたちが一緒に楽しめる内容となっています。

### 耳の日

3月3日は「3(み)」が続くことから「耳の日」です。耳は音を聴くだけでなく、実は身体の平衡感覚を保つための大切な器官でもあります。身体が傾いたときに耳中のリンパ液が動いて脳に情報がいき、手足を使って自然とバランスをとっているのです。耳は小さな器官ですが音を聞き取る以外にも大切な働きをしています。

耳の穴は皮膚が薄く無理やりに掃除をするとすぐに傷がつきやすく外耳炎になる可能性があります。掃除のし過ぎには気をつけ、やさしく掃除をしましょう。

### 卒園式

3月23日は、卒園式です。卒園式の歌を練習する声が聴こえてきます。ゆり組さんを送り出す寂しさ、子どもたちが一步階段を上る楽しさ、新しい出会いが待っているうれしさ、さまざまな感情がわき上がってきます。一日一日を大切に子どもたちと過ごして参ります。



### はなむけの言葉

門出を祝い、旅立っていく人に贈る言葉を一般に「はなむけの言葉」と言います。「はなむけ」が意味しているのは、「花向け」ではなく、当初は「馬の『鼻向け』」だったそうです。「馬の鼻向け」という言葉が次第に略され「はなむけ」という言葉になりました。ちなみに漢字では『餞』『贖』と書きます。

### 一年を振り返って

一年間、大きな怪我や病気もなく楽しく過ごせたことを嬉しく思います。お仕事が忙しい中、保護者方々が園生活を支えてくださったこと、時折温かいお言葉をかけてくださったこと、ずっと心に残っています。

本当にこの1年ありがとうございました。そして、卒園・進級おめでとうございます。

